

- 計画のプロである学識者や運行のプロである交通事業者を計画・準備段階から参画させることで、彼らのノウハウを有効活用し、効率的な運行の実現に寄与。

**知恵袋**

**既存のスクールバスを有効活用したことにより少ないコストでバス運行が実現**

⇒ **医療機関が中心となって導入した中心市街地活性化循環バス[青森県五戸町]**

- ・青森県五戸町では、開業医らが、通院にも中心商店街の買い物にも使える、中心市街地循環無料バスを自らの負担で共同運行することを検討した。
- ・ただし、開業医らが負担できる金額には限りがあり、運行委託の相談を受けた地元の南部バスは、当初、採算の確保が難しいと考えた。
- ・しかし、自治体からの委託で南部バスが運行しているスクールバスを有効活用すれば（間合い運用）、収支のバランスが取れると判断した。
- ・高齢者は、スクールバスが動いていない朝から昼の間に通院や買い物を済ませるため、スクールバスの間合い活用が有効な方策であった。